

勝山市エコミュージアムニュース

平成22年度の取り組み

勝山市
エコミュージアム
協議会

勝山市のエコミュージアム

勝山市がエコミュージアムによって目指すのが、「ふるさとルネッサンス」です。

勝山市独自の自然や風土、伝統や歴史、特有の文化とコミュニティによって成り立っている地域の力を再発見することによって、勝山市の魅力ある個性と特性とを自信を持って表現することが、地域の誇りにもつながります。

私たちが地域に誇りを持つことによって、地域の伝統・文化の継承・保存や地域環境の保全、さらには地域住民の自主性が喚起されます。

勝山市のエコミュージアムは、こうした市民の自主的な活動への支援を通じ、このまちを人間性への回帰に対応した「選択されるふるさと」とすることで、いつまでも住み続けたいまちの実現を目指します。

北郷町まちづくり委員会

ほたるの里事業

北郷公民館前の川は、ほたるの群生地です。

北郷町まちづくり委員会では、この土地に『公園 ほたるの里』を作り、毎年ほたるの鑑賞会を開催しています。今年度は河和田自然に親しむ会（鯖江市）の「ほたる紙芝居」を楽しみました。みなさんもぜひ鑑賞に来てください。



畑ヶ塚～岩屋へ続く「観光ロード」整備事業

北郷地区には「畑ヶ塚」・「岩屋の大杉」・「旧木下家住宅」という貴重な史跡遺産が上野地区から岩屋地区に存在しています。これらの史跡を皆さんに訪れていただけるよう、この付近の道路及び岩屋奥の里山自然観察園を現在整備しています。春には素敵な景観が楽しめますので、皆さんご期待ください。



野向町まちづくり推進委員会

野向町史誌「高尾の息吹」発刊！

野向町の歴史、史跡、生活、あそび、行事を幅広く収録し、昔を懐かしむのみならず、次世代へ継承すべき地域活性の記録でもあります。総ページ数は約600ページ。グラビア写真8枚(カラー)、挿入写真等は約200枚を掲載します。平成23年3月30日に発刊し、野向町全戸配布や公民館、図書館、学校、行政等、町民の親戚関係への配布と一般販売を行っています。



まちづくりから生まれた「株のむきのエゴマ」

独り立ちした「のむきのエゴマ」は、エゴマの生産組合「のむきエゴマの里」と共に、栽培から搾油、そして販売と一貫事業を展開する組織ができました。町民の健康づくりは勿論、歳の市・うまいもん祭・はたや記念館・おいでや等で販売が好調です。

のむきコスモスまつり

薬師神谷地区でコスモスを栽培して10年、イベントとしての「コスモスまつり」は6年目を迎えました。今年も小学生の雅楽や和太鼓、押花教室、振舞い汁、各種バザーで盛り上がり、特に今年は「勝山健康ウォーク」が同時に行われ大好評でした。



北谷町まちづくり推進協議会

「昔おどり」復活事業

北谷町まちづくり推進事業として昭和30年代半ばまで盛んに行われていた盆踊り「千本搦」「はいや」等の「昔おどり」を復活させました。



8月15日夜、木根橋白山神社にて浴衣やハッピを着た町内外の老若男女が集い、夜遅くまで踊りに没頭しました。

勝山市民総合文化祭「芸能発表部門」に出演

8月15日に行われた「昔おどり」を、勝山市民総合文化祭で披露しました。これは、北谷町のまちづくり推進事業に対して多大なご尽力を頂いた勝美会様への御礼と応募を兼ねて、北谷町の会員全員が出演させて頂きました。



まちづくり・むろこの会

花いっぱい推進事業

自分の庭先、玄関からを合言葉に、例年の村岡小学校グラウンド土手の芝桜やコスモス畑の育成に加え、公民館を朝顔のグリーンカーテンで覆いました。

村岡中が花でいっぱいになるよう、これからも活動を続けていきます。



公民館の桜木を守る事業

春の桜の時期と冬のクリスマス時期の年2回、公民館前の桜木のイルミネーションを行いました。また、それを広くPRするため、「わいわいクリスマス」を開催し、町内外から多くの方々が来られ、大好評でした。

村岡山里山公園化プロジェクト

今年は、村岡山城跡の「たて堀跡」を中心に整備を行いました。また、村岡小学校6年生が描いた標識看板を設置したり、今年で2回目となる「村岡山史跡健康ウォーキング」を開催しました。



遅羽町住民協議会

「カタクリまつり」

春のバンブラインは、登山道付近にカタクリの花がひろがり、展望台からは勝山市街や加越国境の山々を眺めることができ、多くの登山者が訪れています。住民協議会では、平成22年4月4日（日）にカタクリまつりを開催し、自然観察をしながら登山し、下山後勝山駅駐車場で参加された皆さんに鍋や地元特産物の即売会を開きました。

「バンブラインの整備」

平成22年度は7月4日と、9月26日の2回、壮年会のメンバー約40人でバンブラインの階段補修と草刈りを行いました。今回から階段が崩れにくいようにするためし字杭を打ち込みながら階段を設置し、登山者が安全に通行できるハイキングロードが完成しました。



荒土町ふるさとづくり推進協議会

火持ち抜群大好評の『荒土の炭』

今年度は5回炭焼きをしました。多くの方から火持ちが良く火力が強いと好評を得て固定客もつきました。炭づくりは、すべてが手作業でかつ重労働ですが、会員は昔の体験を活かしてがんばっています。

炭を使った創作品の製作と販売

炭を焼くたびに出る炭の足や規格外品を商品化しようと会員がアイデアを出し合って、花器やミニ盆栽などおしゃれなインテリア商品を試作しました。ゆめおーれ勝山やイベント、年の市の販売などで付加価値をつけ、『荒土の炭』をPRしていきます。

『ウド』の初収穫

炭窯近くの休耕田を活用し、3年にわたり県総合グリーンセンターや奥越農林総合事務所の指導を受け、ウドの苗の植え付け、加工法についての研修を受けました。今年は初収穫し、株分けにも成功しました。今後は、栽培面積を拡大し、特産化に向け取り組んでいきます。



平泉寺町まちづくり推進協議会

「女神まつり」

平泉寺の水と豊かな自然を肌で体感し、地域の各世代間の交流を図るため、女神川にて「白山平泉寺女神まつり」を行いました。会場では児童・来場者による七夕の飾り付けや約10mの流しそうめん、水中生物の観察会などが行われ、大いに賑わいました。



川の中では、手作りの水中滑り台や自作の笹舟を流す笹舟競争が行われ、子どもたちは終始歓声を上げていました。特に岩魚のつかみ取りは大人も子どもも入り交じり夢中で魚を追いかける姿がみられました。取った岩魚はその場で塩焼きにし、皆さんに振る舞われました。

高年層から若年層まで幅広い参加者により世代間の交流が図られ、町の活性化に貢献できました。

猪野瀬まちづくり推進協議会

春の大師山自然観察会

早春には森林浴コースでオウレンが咲き始め、五つの散策コースではカタクリ等の春の花を楽しむことができます。観察会では主に登山道コースにて春の花や樹木の観察を楽しむことにしています。



大師山名勝・旧跡説明板設置

大師山・山頂の伏拝や中腹の大師堂等は今でも人々の祈りの場として親しまれています。白山を開いた泰澄大師ゆかりの山として、その歴史を物語る代表的な名勝・旧跡に説明板を設置しました。



大師山山頂・樹木整備

山頂部に立った時に「辺りの木が景色をさえぎって残念！」との声を多く聞きます。そこで今回、四方の樹木を整備して視界を広げました。そのことにより、今まで以上に絶景ポイントを増やすことができました。



勝山地区エコ推進協議会



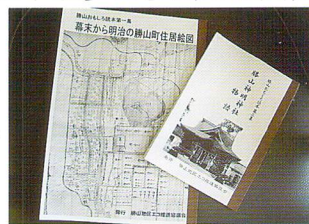
町なか歴史ウォーク

勝山の町なかの歴史を多くの人に知って戴くために、年間2回のペースで開催しています。今年は第1回目に、親子を対象とした夏休み企画「ミステリーナイトウォーク」を開催しました。第2回目は、かっちゃま歩こう会との共催で町なかをとびだし、三室遺跡へと足を運びました。

歴史冊子

勝山地区エコ推進協議会では、勝山地区の歴史をわかりやすく紹介した歴史冊子を発行してきました。本年度は、町なかの高札と石柱を集約した冊子「歴史の道 町中の高札、石柱を訪ねて」を発刊しました。

また、発行部数に限りがあるため、ホームページからダウンロードできるようデータ化も行いました。



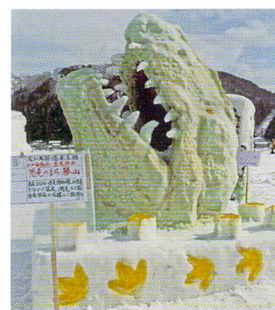
鹿谷町まちづくり協議会

これまでの取り組み

鹿谷町では、昭和63年より「雪まつり（雪像コンテスト）」を開催してきました。今年で24回目を迎えるこの取組で、邪魔ものでもあり地域の資源でもある「雪」を核としたまちづくりを進めてきました。

平成22年度の取り組み

今まで町民のみ対象だった「雪像づくりコンテスト」を今回新たに、広く町外の方からも募集したことにより、雪像の基数が増えただけでなく、雪像のレベルが向上し、さらにスケールアップした雪まつりとなりました。これにより、町内だけでなく町外の人々も巻き込んだ元気で活力のある取組ができました。



勝山城博物館

勝山城清明茶会

春爛漫の中、各流派の方々により濃茶席・薄茶席・点心席・野点席を設え大茶会を開催いたしました。お茶席では優雅でしっとりと落ち着いた風情をお楽しみいただき、また郷土料理を加えての点心席は好評です。毎年4月第3日曜日に開催しますので、どうぞ皆様お誘い合わせでお気軽にご来館いただきますようお願いいたします。



第5回 越前勝山城絵画作品展「お城を描こう」

「子どもの絵から宝物を」をテーマに、勝山市をはじめ県内外の保育園・幼稚園・小、中学校の子どもたちを対象に作品を今年も募集し、頑張りや認められた作品に賞状・副賞を、惜しくも選にもれた作品には参加賞として、環境に配慮した新聞を巻いた鉛筆を贈呈し、入賞作品を城内に展示しました。



四葉のクローバー会

定例相談会

毎月7日に福井県外から勝山市へ移住された方達が集える場を作っています。暮らしに関するちょっとした悩みや疑問、習慣の違いなどをワイワイと語ってもらう事で早く勝山市の生活に慣れてもらう事を目的として開催しています。

福井県の良さを知る見学会

11月7日に朝倉遺跡見学会を開催しました。福井県の歴史に触れ、魅力発見を目的とした見学会です。有名な観光ガイドの説明テクニックに学ぶ所が多く、勝山市の遺跡を説明できるようになりたいとの声も参加者から聞かれました。



全国のお雑煮を食べながら市長と語る会

1月7日にじばサロンにて市長とかたる会を開催しました。北海道、青森、京都、兵庫、鳥取のお雑煮を会員が作り、市長と勝山市の暮らしや良い所、PRの仕方などを和やかな中、話し合いました。

子どものためのふるさと研究会

「泰澄和尚伝絵物語」本制作

7年間の「金沢文庫泰澄和尚傳」の解説などの下調べと、各場面絵の描画を経て、ようやく子ども向け「泰澄和尚伝絵物語」本を製本いたしました。

泰澄和尚紹介講演会

荒土・平泉寺・鹿谷・野向小学校、芳野町区民、らくらくクラブ会員を対象に、泰澄和尚86年間の生涯と偉業・当時の社会環境等を紹介・解説してまいりました。



泰澄和尚散策の道探策会

平泉寺を中心にした「泰澄和尚散策の道」を洗い出し、一経路として設定しました。熊騒動の中でしたが、北郷小学校の皆さんと探策会を実施いたしました。



勝山市観光ガイドボランティアクラブ

平泉寺白山神社の観光ガイド

私達ガイドは、総勢20名、平泉寺白山神社のガイドを中心に活動をしています。県内外のお客様をお迎えし、一般にあまり知られていない深い歴史をお伝えし、驚きと興奮、感謝の思いを受けての「また来ます」の言葉が原動力です。

リピーター向けパンフの配布

本年、エコミュージアム協議会から助成金を頂き、「また来たい」と思っている方が、お友達をお誘いしやすい様なパンフレットを作りました。ガイドの際に、お客様にお配りし、もっと深く知りたい方には、発掘現場を回るコースもある事をお知らせしています。

福井の語り部発表会の開催

福井県内の観光ガイドボランティアが、一同に会して日頃のガイドの技を発表、研修する会が、ゆめおーれ勝山で行われました。司会役をお受けし、研修では、まちなかガイドを他団体のガイドさんに対して行い盛況でした。

社団法人 勝山青年会議所

左義長まつり参画事業

左義長まつりの本部運営テントにて、各地区を回るスタンプラリーの景品作製や運営の手伝いをしております。フィナーレをかざるどんどこ焼き会場にて、名物炭もち作製販売を行い、まつりを盛り上げる一助となっています。

青少年育成事業「かちやまトレジャー」

一泊二日の日程で子どもたちを主役とし、勝山市街地をオリエンテーリング形式で巡ってきました。その道中で地元の皆様と触れ合い、勝山の価値ある建物や名所を巡ることで、将来の思い出に残る体験となったと思います。

クリーンアップ九頭竜川2010 ー清流九頭竜川を未来へー

この事業もおかげさまで6年目を迎えることができました。市民・企業・行政の三位一体の活動として多くの方にご参加いただきました。ゴミを拾うことできれいな九頭竜川そして勝山を思う心が根づいてきていると感じます。

勝山左義長ばやし保存会

勝山左義長ばやし講習会と音源収録

後継者育成と伝統芸能の継承を目的に、お囃子の講習会を、まつりの時期だけではなく7月より毎月2回全10回、市民活動センターにて実施しました。太鼓、笛、三味線の受講生が毎回約15人受講しました。また練習用に、お囃子の音源収録を行い、会のホームページで公開しました。

富山の太鼓に出演

勝山左義長を県外へPRするため、11月14日富山県砺波市の文化会館にて「第36回富山の太鼓」に出演しました。富山ではまだなじみの無い祭りでしたが、ぜひ祭り当日にも訪れたいとの言葉をいただきました。その他に市内外公演を10回行いました。

APEC歓迎レセプションに出演

6月18日福井県でAPECが開催され、福井県を代表する芸能として歓迎レセプションに出演しました。明るい音楽と太鼓が海外の方にも好評で勝山左義長ばやしを海外にもPRできました。



縄文料理研究会

勝山市の伝承料理の普及・PR

三室小学校に出向き「たくあんの煮たの」「きゃらぶき」「ぎんなんの焼いたの」を紹介しました。若い親御さんや子供達も勝山の伝承料理を喜んで試食していました。



「縄文かきもち」作り開始

勝山市で生産された農林産物(野向町のエゴマ・北谷町のアワ・平泉寺町の黒米・遅羽町のキビやヨモギ)を使って五色のかきもちを作りました。

初めて「年の市」に出店

年の市に遅羽町の遺産をいかした一品として「縄文ぼたもち」「縄文太巻き寿司」「縄文かきもち」を試作販売しました。



ドレミ音楽舎

「第3回 勝山唄の市2010」

H22.11.14(日) わがまちげんき発展事業対象事業「第3回 勝山唄の市2010 in じばさん」を奥越地場産センターにて開催しました。「唄の市」の第1回は「ふるさと」、第2回は「愛」、そして第3回は「かつやま」をテーマにしたオリジナルの歌詞や曲の発表と、オリジナルフリーの部、一般ライブの部もあり出演者の力強い演奏を披露していただきました。



西の子ライブ

H22.6.19(土) 成器西小学校にて小学生の皆さんと「唄と音楽の交流会」を企画し低学年から高学年まで、ご父兄や先生方共、たくさん参加して頂きました。生徒さんからは歌の発表があり、また、ギターやドラムに直に触れ、自由に音を出したりして楽しい交流の場でした。この機会に少しでも音楽や楽器に興味をもっていただけたら幸いです。会の終わりにはメンバー一人ひとりに花束までいただき本当にありがとうございました。



定例ライブ

毎月第3土曜日午後7:00から「勝山市民活動センター」にて市民自由参加の定例音楽ライブを開催しています。青少年に音楽の練習と発表の場を提供し高校生の参加もあります。ギターに興味のある方、またジャンルを問いませんので、一度お立ち寄り下さい。

わくわく体験学習推進隊

自然観察会

里地・里山の持った環境教育、文化伝承、生物の多様性の保全等の機能を学ぶため、自然観察会を毎月2回企画しました。観察会に参加された方々は皆、自然の素晴らしさの再認識と環境保全の意識向上に繋がりました。



かつやま恐竜図画作品展「恐竜を描こう」

子どもたちに恐竜に関する関心や興味を持ってもらうことを目的に、恐竜図画作品を募集しました。昨年の倍以上の1,095点の応募があり、子どもたちの豊かな想像性と感受性を育てることができました。

ワンダーフォーゲル IN 勝山

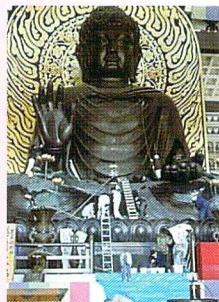
関西学院大学ワンダーフォーゲル部と小学生との1泊2日のキャンプを東山いこいの森にて行いました。魚とりやキャンプファイヤー、取立山登山などを行い、子ども達に夏休みの良い思い出を残すことができました。



越前大仏

観月会

本年度の観月会は雨の予報が出ていた為、講堂にて9月21日に催されました。「観月と音楽の夕べ」と題し、ハーブ&フルート、休息をはさみ勝山ウィンドアンサンブルの演奏に耳を傾け、秋の夜のひとときを過ごしました。



お身拭い

12月19日（日）本尊のお身拭いが大仏殿の大掃除が行われました。奉賛会員や大勢のボランティアの方々の手によって、1年の汚れが掃われ、新年を迎える準備が出来ました。



節分会

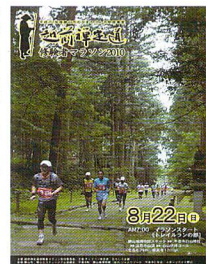
2月6日（日）大仏殿にて節分の法要が行なわれ、法要後に現れた鬼に向かって豆まきを行い、今年1年の健康と無事を祈願しました。



越前禅定道修験者マラソン実行委員会

越前禅定道修験者マラソン

平成22年8月22日（日曜日）に開催しました。81名の申込みがありました。午前7時に勝山城博物館前をスタートし、法恩寺山頂を越えてゴールの伏拝まで全長8.7km標高差1200mの過酷な山岳コースですが、72名が完走しました。男性の一位が1時間15分56秒、女性の一位が1時間28分35秒でした。今年も県外からの参加者も多く、北陸を代表とする山岳レース（トレイルラン）として定着してきました。そして勝山の豊かな自然と歴史ある平泉寺をアピールできる良い機会となっています。



谷はやし込み保存会

ほうば会

ケヤキの新緑の下、ほうばのご飯や春の山菜を囲みワイワイ話そうと、山菜や朴の葉を準備し、5月最終日曜日に伊良神社境内で懐かしい叔母の味を囲みました。



はやし込み行列

毎年8月15日に北谷町谷地区で勝ち山夏物語のひとつとして、谷区内のお寺から伊良神社まで行列が練り歩きます。1度途絶えた伝統行事を平成12年に復活させ、今年で11回目となりました。古里に思い出のある懐かしい方々が見られるようになっております。また、行列の一般参加として、外国人の方にも参加をしていただき、行列を盛り上げていただきました。



協働提案の部:勝山市青年団体連絡会・谷はやしこみ保存会「お面さん:雪像まつり」

勝山市指定文化財のお面を中心とした雪像まつりで、地区の保存食である鯖の熟れ鮎しやガヤの実を振る舞いました。当日は、かつやま子どもの村小・中学校、勝山市青年団体連絡会の皆様にご協力をいただき、面、ゴザ帽子、ドミノ、笠、ロウソクを活用しながら雪像200体を作りました。また、お寺では囲炉裏を囲みながら、保存食の振る舞いを行いました。



おさんぽマップ部@らぶ勝

まちなかマップ製作

初めて勝山へ来られた方が、迷わず動くことができるような地図と、いち市民のクチコミ情報を載せたチラシを製作しています。

平成22年度は、去年のものに工夫を加え、新たな左義長まつり号を発行しました。

